

レジメンスケジュール

診療科	消化器内科
適応	胆道癌
レジメン	胆道GC(GEM1000、CCDP25)療法

申請・改訂日	2013年1月
備考	2013/9 day1とday15投与も登録 2022/07 Bolus廃止

クール関連

使用した臨床データ
がん化学療法レジメンハンドブック

全クール (day1とday8)																		
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	...	day8	day21
メイン①		5%ブドウ糖液	500mL	メイン	120分		○		○									終了
		ビタミンB群製剤	1V				○		○									
		メトクロプラミド	10mg				○		○									
		フロセミド	20mg				○		○									
メイン②		5%ブドウ糖液	500mL	メイン	120分		○		○									
側①		パロノセトロン注	0.75mg	側管	30分	メイン②の側管	○		○									終了
		生理食塩液	50mL				○		○									
側②		デキサメタゾン注	6.6mg	側管	30分	メイン②の側管	○		○									終了
		生理食塩液	50mL				○		○									
側③	○	シスプラチン	25mg/m2	メイン	60分	total500mL	○		○									終了
		生理食塩液	500mL				○		○									
側④	○	ゲムシタピン	1000mg/m2	メイン	30分		○		○									終了
		生理食塩液	100mL				○		○									
メイン③		5%ブドウ糖液	500mL	メイン	120分		○		○									終了
		メトクロプラミド	10mg				○		○									
メイン④		5%ブドウ糖液	500mL	メイン	120分		○		○									

全クール (day1とday15)																		
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day15	day21
メイン①		5%ブドウ糖液	500mL	メイン	120分		○				○							終了
		ビタミンB群製剤	1V				○		○									
		メトクロプラミド	10mg				○		○									
		フロセミド	20mg				○		○									
メイン②		5%ブドウ糖液	500mL	メイン	120分		○			○								
側①		パロノセトロン注	0.75mg	側管	30分	メイン②の側管	○			○								終了
		生理食塩液	50mL				○		○									
側②		デキサメタゾン注	6.6mg	側管	30分	メイン②の側管	○			○								終了
		生理食塩液	50mL				○		○									
側③	○	シスプラチン	25mg/m2	メイン	60分	total500mL	○			○								終了
		生理食塩液	500mL				○		○									
側④	○	ゲムシタピン	1000mg/m2	メイン	30分		○			○								終了
		生理食塩液	100mL				○		○									
メイン③		5%ブドウ糖液	500mL	メイン	120分		○			○								終了
		メトクロプラミド	10mg				○		○									
メイン④		5%ブドウ糖液	500mL	メイン	120分		○			○								

投与量	ゲムシタピン	シスプラチン
通常量	1000mg/m2	25mg/m2
1段階減量	800mg/m2	中止
2段階減量	600mg/m2	中止
3段階減量	中止	中止

投与開始基準

項目	初回day1	2コース目以降のday1	day8
白血球数	3000/mm ³ 以上	2500/mm ³ 以上	2000/mm ³ 以上
好中球数	1500/mm ³ 以上	1000/mm ³ 以上	1000/mm ³ 以上
血小板数	10万/mm ³ 以上	7.5万/mm ³ 以上	7万/mm ³ 以上
AST/ALT値	150IU/L以下(減黄処置なしの場合は100IU/L以下)	150IU/L以下	-
T-Bil値	3mg/dL以下(減黄処置なしの場合は2mg/dL以下)	3mg/dL以下	3mg/dL以下
血清クレアチニン値	1.2mg/dL以下	1.2mg/dL以下	1.5mg/dL以下
皮疹	G0	G0-2	G0-2
感染	G0	G0	G0

減量・中止基準

ゲムシタピン		
副作用	程度	対処法
白血球減少	G4	休薬、回復後減量で再開
FN	G3以上	
非血液毒性	G3以上	
シスプラチン		
副作用	程度	対処法
※投与回数	16回投与された場合	中止を検討
血清クレアチニン値	1.2mg/dL以上が7日以上継続し、投与開始できない場合	中止
末梢神経障害・聴覚障害	G2以上	中止
アレルギー	G3以上	中止